

一般社団法人日本昆虫学会  
2018 年度代議員総会 議事録

(1) 日時および場所 2018 年 9 月 7 日 (金) 15:07～16:35

(2) 代議員の現在数 32 名

(3) 出席した代議員の数および出席者氏名(表決委任者を含む。)

出席者氏名

阿部芳久、神保宇嗣、杉浦真治、松本吏樹郎、吉村真由美、後藤慎介、中村剛之、塘 忠顕、  
矢後勝也、渡辺恭平、岩田隆太郎、久保田耕平、深津武馬、寺山守、河野勝行、岸本年  
郎、東城幸治、竹松葉子、山中明、吉富博之、小西和彦、大庭伸也、紙谷聡志、野村周平

出席代議員数 24 名

表決委任者

吉澤和徳、平井規央、八木剛、徳田誠、丸山宗利、四方圭一郎

(4) 総会に出席した役員の氏名

野村周平、鈴木誠治、広渡俊哉、阿部芳久、小西和彦、佐藤宏明、前藤薫

(5) 総会議長の氏名

野村周平副会長

(秋元信一会長が地震の影響で欠席したため、定款第 19 条および第 30 条に基づき副会長が  
議長を務めた)

(6) 決議事項および報告事項

報告事項 (カッコ内は報告者)

1. 庶務幹事報告 (庶務幹事 鈴木誠治)
2. 会計幹事報告 (代読: 庶務幹事 鈴木誠治)
3. 渉外・本部事務幹事報告 (渉外・本部事務幹事 神保宇嗣)
4. 図書幹事報告 (図書幹事 神保宇嗣)
5. 編集委員会報告 (編集委員長 広渡俊哉)
6. 自然保護委員会報告 (自然保護委員長 荒谷邦雄)
7. 日本の昆虫編集委員会報告 (日本の昆虫編集委員長 紙谷聡志)

8. 電子化推進委員会報告（代読：庶務幹事 鈴木誠治）
9. 日本昆虫目録編集委員会報告（日本昆虫目録編集委員長 三枝豊平）
10. 将来問題検討委員会報告（将来問題検討委員長 市岡孝朗）
11. 日本 ICIPE 協会に関する報告（日本 ICIPE 協会委員 佐藤宏明）
12. 自然史学会連合に関する報告（代読：庶務幹事 鈴木誠治）
13. 日本分類学会連合に関する報告（日本分類学会連合日本昆虫学会代表 井手竜也）
14. 国際昆虫学会議に関する報告（国際昆虫学会評議員 深津武馬）
15. 日本昆虫科学連合に関する報告（日本昆虫科学連合日本昆虫学会代表 後藤慎介）
16. 男女共同参画推進委員会報告（男女共同参画推進委員長 田中一裕）
17. 国際昆虫学会会議招致委員会報告（国際昆虫学会会議招致委員会日本昆虫学会代表 吉村真由美）
18. 選挙管理委員会報告（選挙管理委員長 野村周平）
19. その他（特になし）

#### 決議事項

1. 2017 年度決算、会計監査
2. 理事・監事の選任
3. 2018 年度予算
4. 2019 年度大会開催地（中村剛之会員）
5. その他（特になし）

#### (7) 議事の経過の概要およびその結果

#### 報告事項

- ・ 図書幹事報告：神保図書幹事より、和文誌バックナンバーのうち、情報研からの移行分（1 巻～16 巻）について、J-STAGE からの公開が 9 月中に開始予定との報告があった。
- ・ 編集委員会報告：検討していた APA スタイルに準じたページレイアウトの変更検討について、そのメリットについて野村副会長より質問があった。広渡編集委員長から、一律のスタイルを導入することで編集の効率化を図ったが、記載論文にあわないなどの理由で、それほど効率化に寄与せず見送ったと返答があった。
- ・ 自然保護委員会報告：荒谷委員長より同日の代議員総会前に開催された自然保護委員会での議論の簡単な報告として、1) 与那国島など南西諸島における、自衛隊施設建設に対する環境配慮について、防衛省からの要請を受けつつ現地調査や視察などを実施していること、2) 据え置き型トラップの設置が国立公園における現状変更行為としてみなされた事例とその注意喚起の必要性、3) 来年のシンポジウムのテーマとしてネオニコチノイド農薬問題が

候補に挙がっていること、が話題提供された。

- ・将来問題検討委員会報告：代議員の選出を全国区でおこなうという提案かという質問が阿部代議員から出された。市岡将来問題検討委員長より、それも一つの選択肢であり、学会に大会実施について各地区との窓口になる委員を作れば、地区ごとで選出しなくてもいいかもしれない、という返答があった。
- ・国際昆虫学会会議招致委員会報告：8月20日付で代議員に提案された国際昆虫学会招致のための30万円の寄付について、代議員から特に異論が無かったことが、野村副会長より報告された。

## 決議事項

- ・2017年度決算、会計監査：原案のとおり挙手により賛成多数で可決された。
- ・理事・監事の選任：投票により、理事・監事予定者の全員が、反対無しで選任された（有効票：23、委任：6）。なお、監事予定であった秋元信一会員については、後日臨時代議員総会を開催し改めて選任することとなった。
- ・2018年度予算：法人税15万円が計上されているが、自動的にかかるのか後藤代議員から質問があった。市岡会員より、法人税は自動的にかかり、収支については非営利のためかかっていないことが情報提供された。予算案は、原案のとおり挙手により賛成多数で可決された。
- ・2019年度大会開催地（中村剛之会員）：原案のとおり挙手により賛成多数で可決された。

## その他

- ・東城代議員より、信越地区で予定されている2020年の大会について、信越地区は現役教員の会員は少なく、定年した方が代議員をやらざるを得ない程度に厳しい状況のため、開催地に関する将来問題検討委員会での議論を早めて検討してほしいという要望の発言があった。これに関し、市岡将来問題検討委員長より、議論を早く進めるとともに、今までの持ち回りでの実施はもはや困難であり、関東地区での開催を一年前倒しにする必要があるかもしれないと執行部への助言があった。
- ・阿部代議員より、代議員へ周知したいこととして、1) 法人化の際に特別会計も一般会計に統合されていること、2) 将来問題検討委員会・自然保護委員会・日本の昆虫編集委員会・電子化推進委員会・男女共同参画推進委員会の5つの委員会の委員長は任期があり、新会長が推薦し代議員会で決定すること、の2点の情報提供があった。

(8) 議事録署名人による署名

(9) 議事録作成者の氏名

野村周平